

(3) 保護開始・廃止の主な理由

平成18年9月中の保護開始の主な理由を構成割合で見ると、「傷病による」が43.0%と最も多く、次いで「働きによる収入の減少・喪失」が18.3%、「貯金等の減少・喪失」が16.5%となっている(図3)。

また、平成18年9月中の保護廃止の主な理由を構成割合で見ると、「死亡」が25.1%、次いで「失そう」が15.3%、「傷病治癒」が15.0%となっている(図4)。

図3 保護開始の主な理由別世帯数の構成割合

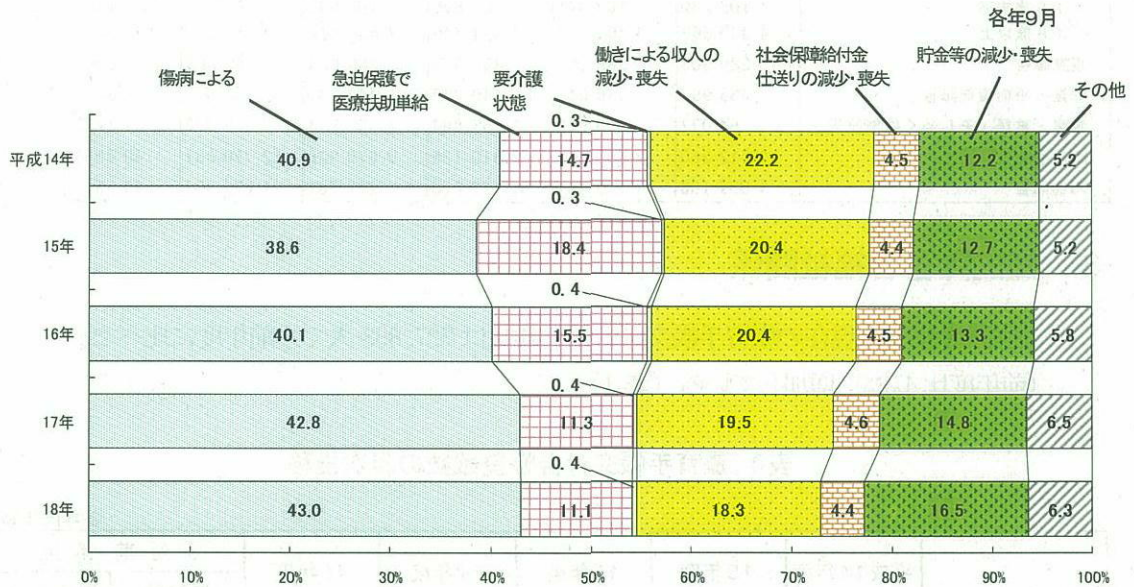
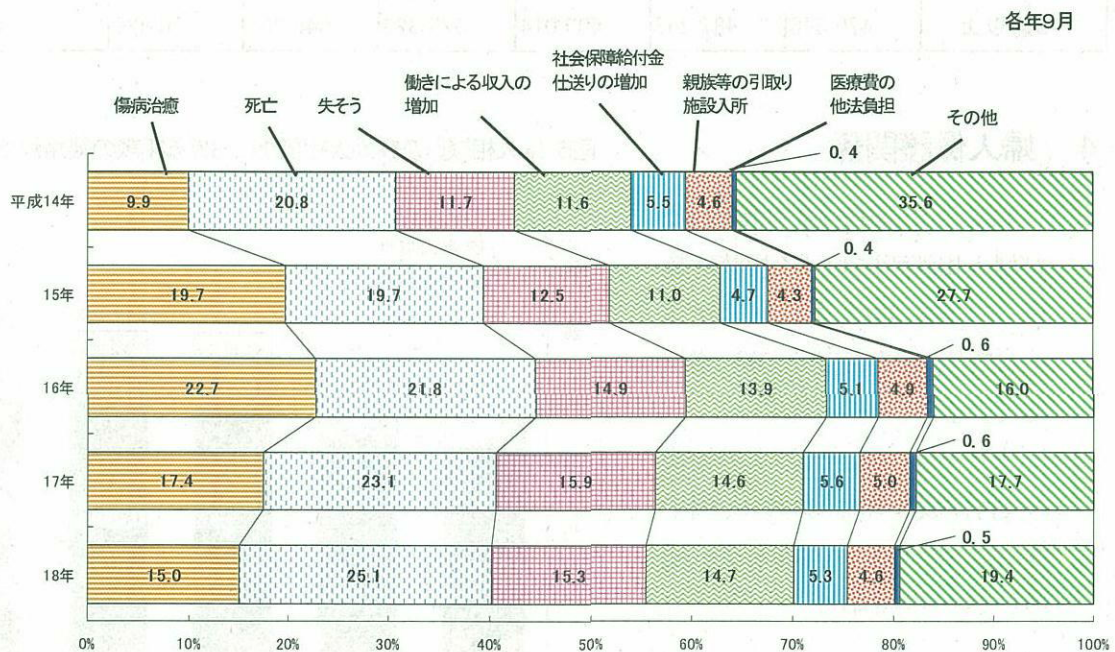


図4 保護廃止の主な理由別世帯数の構成割合



注：平成14年の「その他」の中には「急迫保護で医療扶助単給」を理由として保護開始した世帯が含まれている。